

脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて脱炭素の取組を組み込みながら、福島県12市町村*の復興・再生を図るまちづくりを推進するとともに、特色ある地域循環共生圏(ローカルSDGs)を目指し「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」を設置し、その取組を推進しております。

*田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村



背景・目的

■国の2050年カーボンニュートラルの実現に加えて福島県は2040年頃に県内のエネルギー需要に対する再生可能エネルギーの割合を100%とする高い目標を掲げています。地域を復興・再生していくまちづくりの取組にあたっては、脱炭素化を同時に進めていくことが重要です。

■左記を踏まえ、福島県12市町村を中心に、復興の加速と持続可能な社会づくりを両輪で推し進めつつ地域資源を最大限活用した地域循環共生圏を形成するべく、地域内外の多くの主体が共通の目標や認識を持った上で、長期にわたり連携していくことを目指します。

脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの活動

- 福島県12市町村が有する課題の共有及び課題解決に向けた具体的手法の検討
- 課題解決に活用可能な国・県・金融機関等の支援スキームの共有・活用方法の深掘り
- 官民双方のニーズを相互に理解した事業形成に向けた多様な主体のマッチング
- 対象地域の広域連携による事業の効率化に向けた検討

情報交換

- 各市町村の脱炭素の取組や課題
- 各事業者の実施可能事業や得意技術
- 国の施策や制度、技術的助言
- 先進事例の共有 等

ネットワーク形成

- 各市町村の課題に対し、担い手となる事業者や支援ツール等をマッチング
- 必要に応じて、個別WGを立ち上げ、課題解決や事業化に向けて議論を深掘り

事業創出

- 事業スキームの検討
- 事業化または実証
- 広域連携に向けた検討

個別ワーキンググループ(WG)

脱炭素×観光による地域振興WG

福島の魅力や未来への可能性を体験してもらえ「福島体験ツアー」の企画

地域・情報 (オトナリ、福島民報社、HAMADORI13)、**観光・運輸** (郡山観光運輸、孫の手、ひろのプログレス、**脱炭素事業** (バイオマスレジン福島、ちーの) 等

脱炭素物流検討WG

ドローン活用等を含めた物流分野における脱炭素方策の検討

エネルギー (アポログループ)、**ドローン** (ロボデックス)、**運輸・物流** (イオン東北、ヤマト運輸、佐川急便) 等

脱炭素×農業WG

新たな環境配慮型の農業用資材の普及・開発に向けた方策の検討

農業 (ちーの)、**エネルギー** (えこえね南相馬研究機構)、**リサイクル** (東北交易)、**化学** (三菱ケミカル)、**建設** (奥村組、大成建設) 等

脱炭素経営WG

脱炭素化への具体的手法の学びによる、投融資や事業機会の拡大
※現在は勉強会等実施

プラットフォーム参加者であれば、どなたでも自由に参加可能

ネイチャー・ポジティブによるコベネフィット検討WG

脱炭素や復興への相乗便益を最大化させるための施策の検討

生物多様性 (バイオーム)、**観光・運輸** (郡山観光交通)、**地域・情報** (オトナリ) 等

地域還元型電源開発WG

発電事業の諸課題における地域に還元される仕組みづくりの検討

金融 (東邦銀行)、**エネルギー** (えこえね南相馬研究機構)、**観光・運輸** (郡山観光交通)、**建設** (大和田測量設計) 等

脱炭素燃料WG

バイオ・低炭素燃料の供給・利活用に係るサプライチェーン構築の検討

エネルギー設備 (えこでん)、**観光・運輸** (郡山観光交通)、**航空** (全日本空輸)、**プラント** (日揮、日鉄エンジニアリング、IHI) 等

市町村WG

各市町村が抱える課題やニーズを共有する機会の創出。各個別WGとのマッチングの検討

事務局: 民間事業者
事務局: 環境省

帰還困難区域での脱炭素化事業検討WG

帰還困難区域の復興における民間主体での脱炭素化事業の検討

まちづくり (日本みち研究所、エックス都市研究所)、**金融** (東邦銀行)、**土木資材** (福島エコクリート)、**建設** (奥村組、大林組) 等

脱炭素建築×復興まちづくりWG

福島県産木材等を活用し、脱炭素・循環型の復興まちづくりに寄与

建材 (ニチハ)、**木材製品** (Ecoいち、ウッドコア)、**地質調査** (新協地水)、**不動産・建設** (双葉不動産、大東建託、大林組、大成建設) 等

脱炭素×廃棄物WG

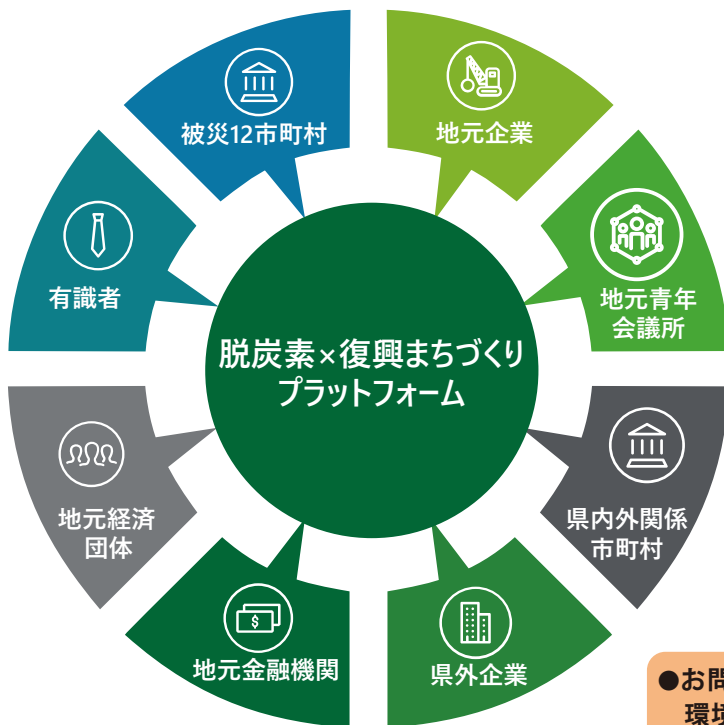
廃棄物の資源化を通して、地域課題の解決に寄与する事業を検討

設備 (株式会社ライクス)、**脱炭素事業** (株式会社ライスレジン)、**観光・運輸** (福島交通観光)、**地域・情報** (福島民報社)、**住宅** (大和ハウス工業) 等

産業界: 156者
教育・研究機関: 5者
行政・関係機関: 23者
金融: 5者
個人: 43者

合計: 232者が参加
(令和7年10月2日現在)

「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」の参加要件と参加方法



- プラットフォームへの参加ご希望の方
➔ 既存WGへの具体的な参加方法について事務局と調整
- 新規WG立ち上げご希望の方
➔ 取り組みたいテーマを事務局へご提案
事務局よりご提案内容を全体に周知した後、必要に応じて他事業者等と連携
- 全体会合や勉強会のみのご参加も可能

参加要件: 特になし
団体、法人、個人での参加可

現在の参加者例:
福島12市町村、地元企業、有識者、地元青年会議所、地元経済団体、地元金融機関、国の機関、福島県、県内外の関係市町村、県外企業等

●お問い合わせ先
環境省 環境再生・資源循環局
福島再生・未来志向プロジェクト推進室
電話: 03-3581-2788 (直通) Mail: mirai_shikou@env.go.jp

